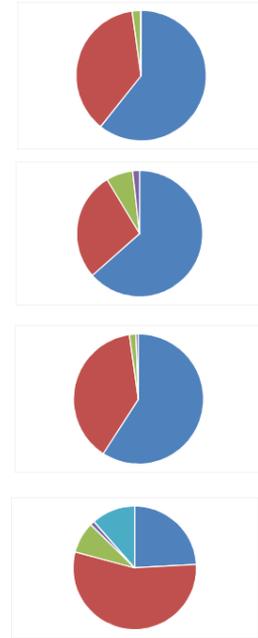


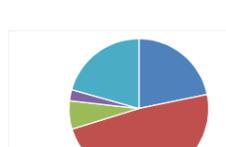
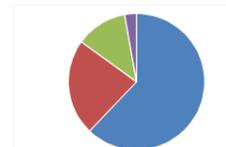
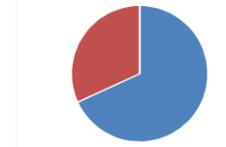
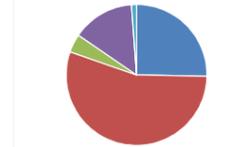
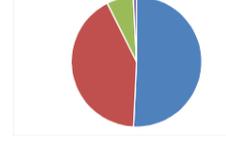
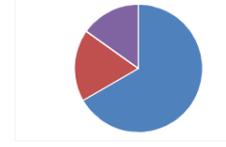
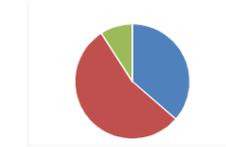
令和3年度 三国中学校 学校評価

項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート (設問と回答)		アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者
			人数	割合	人数	割合			
①基礎・基本の徹底	授業に集中して取り組んでいるかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	①学校の授業にまじめに取り組んでいる。	計499人		A+Bが 98%	98%	生徒		
		A あてはまる。	303	61%					
		B どちらかといえば、あてはまる。	185	37%					
		C どちらかといえば、あてはまらない。	10	2%					
	家庭学習にしっかりと取り組んでいるかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	②学校の宿題などの家庭学習に、毎日取り組んでいる。	計499人		A+Bが 91%	91%			
		A あてはまる。	317	64%					
		B どちらかといえば、あてはまる。	139	28%					
		C どちらかといえば、あてはまらない。	34	7%					
	学校の授業は、わかりやすいかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	③学校の先生はわかりやすく教えてくれる。	計499人		A+Bが 98%	97%			
		A あてはまる。	295	59%					
		B どちらかといえば、あてはまる。	193	39%					
		C どちらかといえば、あてはまらない。	8	2%					
	基礎・基本を身につけようとする学校の学習指導について満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が 90%以上	④学校は、授業や家庭学習を通して、十分な学習指導を行っている。(プリントやワーク、チャレンジ学習での反復練習、テスト前の質問会、補充学習(3年)など)	計427人		A+Bが 79%	76%		保護者	
		A あてはまる。	103	24%					
		B どちらかといえば、あてはまる。	235	55%					
C どちらかといえば、あてはまらない。		35	8%						
D あてはまらない。		5	1%						
成果と課題	②授業の最後に宿題をし始めたり、宿題の量を減らしたり、期間を決めて生徒が計画的に進められるようにしたりしていることで宿題の負担を減らした。 ③デジタル教科書やタブレットなどICTの活用で視覚的にとらえられるため、学習内容のイメージをもちやすくなった。 ④各教科で授業の最初に小プリントをしたり、3年の補充学習で解説を重視したりすることで基礎・基本の定着に力を入れた。 ④コロナウイルス感染予防のため、本年度は夏の補充学習ができなかった。								
	具体策	④来年度は、3年生の夏休み、冬休みの補充学習、1・2年生の学習会を行う。 ④週1回行っていた基礎・基本の学習会を来年度も行う。 ④テスト前の質問会では、質問に答えるだけでなく、各教科で学習内容の解説も行うようにする。							



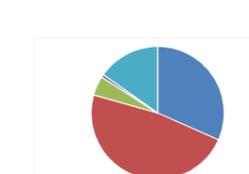
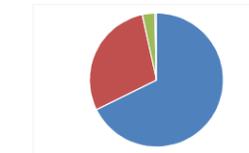
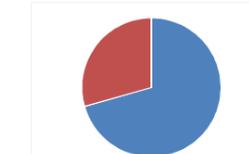
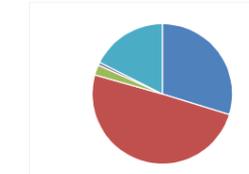
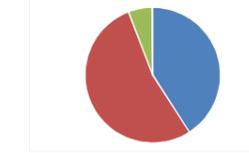
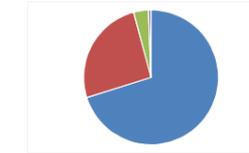
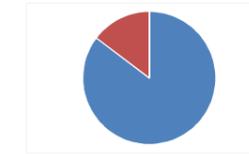
令和3年度 三国中学校 学校評価

項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者		
			人数	割合					
確かな学力	②生徒が主体的に取り組み、考えを伝え合い、高め合う授業の実現	思考力・表現力を高める授業改善に取り組んでいるかどうか。(取組指標)	①生徒が、主体的に取り組み、考えを伝え合い、高め合う授業づくりに努めている。	計33人		A+Bが91%	91%	教職員	
		A あてはまる。		12	36%				
		B どちらかといえば、あてはまる。		18	55%				
		C どちらかといえば、あてはまらない。		3	9%				
		D あてはまらない。		0	0%				
		【目標指数】A+Bの合計100%							
		授業を公開しあい、授業改善に活かしているかどうか。(取組指標)	②年間1回以上の授業公開を行い、他の教員の授業を参観している。	計33人		A+Bが85%	91%	教職員	
		A あてはまる。		22	67%				
		B どちらかといえば、あてはまる。		6	18%				
		C どちらかといえば、あてはまらない。		0	0%				
D あてはまらない。		5	15%						
【目標指数】A+Bの合計100%									
授業に主体的に参加することができているかどうか。(成果指標)	③授業に前向きに参加し、他の生徒と意見や考えを伝え合うようにしている。	計499人		A+Bが93%	93%	生徒			
A あてはまる。		253	51%						
B どちらかといえば、あてはまる。		209	42%						
C どちらかといえば、あてはまらない。		33	7%						
D あてはまらない。		4	1%						
【目標指数】A+Bの合計90%以上									
新学習指導要領に基づく、学校の学習指導に満足しているかどうか。(満足度指標)	④学校は、実験や実習、タブレットなどを取り入れ、生徒の興味や意欲を高めるような授業づくりに取り組んでいる。	計427人		A+Bが80%	65%	保護者			
A あてはまる。		108	25%						
B どちらかといえば、あてはまる。		235	55%						
C どちらかといえば、あてはまらない。		18	4%						
D あてはまらない。		61	14%						
E わからない。		5	1%						
【目標指数】A+Bの合計が90%以上									
成果と課題	③コロナウイルス感染予防のため、グループ学習やペア学習に制限があったが、徐々にその機会を増やすことができた。								
具体策	③④グループ学習やタブレットの活用により、自分の意見を発表したり友だちの意見を知ったりすることで、考えを深める学習場面を増やす。								
③読解力育成を目指した読書活動の推進		朝読書の充実に努めているかどうか。(取組指標)	①「読書」の時間の確保と充実に努めている。	計22人		A+Bが100%	88%	教職員	
		A あてはまる。		15	68%				
		B どちらかといえば、あてはまる。		7	32%				
		C どちらかといえば、あてはまらない。		0	0%				
		D あてはまらない。		0	0%				
		【目標指数】A+Bの合計が100%							
		朝読書に意欲的に取り組んでいるかどうか。(成果指標)	②「読書」の活動に集中して取り組み、月1冊以上のペースで本を読んでいる。	計499人		A+Bが85%	80%	生徒	
		A あてはまる。		310	62%				
		B どちらかといえば、あてはまる。		114	23%				
		C どちらかといえば、あてはまらない。		61	12%				
D あてはまらない。		14	3%						
【目標指数】A+Bの合計が90%以上									
本などの活字に親しむ取り組みにまんざくしているかどうか。(満足度指標)	③学校は、読書の時間の確保や読書記録カードの記入、毎月のホームページなどを通して、本に親しむ取り組みを行っている。	計427人		A+Bが70%	74%	保護者			
A あてはまる。		93	22%						
B どちらかといえば、あてはまる。		207	48%						
C どちらかといえば、あてはまらない。		28	7%						
D あてはまらない。		11	3%						
E わからない。		88	21%						
【目標指数】A+Bの合計が90%以上									
成果と課題	①コロナが落ち着いてきたので図書館も開館し、本を借りに来る生徒が増えた。また、落ち着いて朝読書にも取り組んでいる。 ③ホームページに、図書館の取り組みや活動の様子を写真であげるなど、保護者に周知する取り組みをしてきたが、徹底することができなかった。								
具体策	①読書カードの記録の呼びかけをするなど、委員会活動を通して、読書の啓発をはかる。 ③おたよりを配布し、図書館の取り組みやお薦めの本、新刊図書などを紹介していく。								



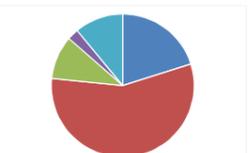
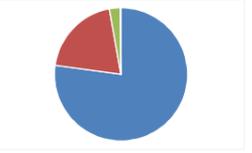
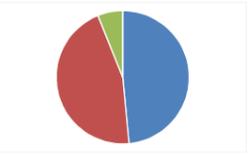
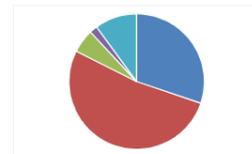
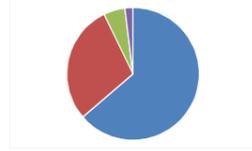
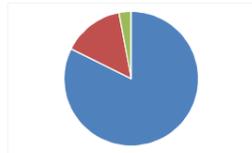
令和3年度 三国中学校 学校評価

項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート (設問と回答)		アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者
			人数	割合	人数	割合			
①挨拶を励行し、時間を守る礼儀正しい生徒の育成	挨拶や時間を守ることの重要性を理解し、生徒に対して積極的指導に取り組んでいるかどうか。(取組指標) 【目標指数】A+Bの合計が100%	①挨拶、時間を守った学校生活についての指導を積極的に行っている。	計34人		A+Bが100%	100%	教職員		
		A あてはまる	29	85%					
		B どちらかといえば、あてはまる	5	15%					
		C どちらかといえば、あてはまらない	0	0%					
		D あてはまらない	0	0%					
	挨拶の大切さを理解し、自分から積極的に挨拶をしているかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が90%以上	②自分から、進んで挨拶を行っている。	計499人		A+Bが96%	96%	生徒		
		A あてはまる	350	70%					
		B どちらかといえば、あてはまる	128	26%					
		C どちらかといえば、あてはまらない	18	4%					
	時間を守ることの大切さを理解し、時間を守って学校生活を送っているかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が90%以上	③時間を守って学校生活を送ることができている。(2分前着席など)	計499人		A+Bが94%	97%	生徒		
A あてはまる		204	41%						
B どちらかといえば、あてはまる		266	53%						
C どちらかといえば、あてはまらない		28	6%						
挨拶や時間など基本的な生活習慣の指導に満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が90%以上	④学校は、挨拶や時間を意識した学校生活の指導を十分行っている。 【2分前着席の実施、各委員会の取り組み(授業前あいさつコンテストなど)、学習習慣の指導など】	計427人		A+Bが79%	85%	保護者			
	A あてはまる	127	30%						
	B どちらかといえば、あてはまる	212	50%						
	C どちらかといえば、あてはまらない	10	2%						
	D あてはまらない	3	1%						
	E わからない	75	18%						
成果と課題	②三本柱を定期的に意識づけてきたことが、教員と生徒の判定結果として現れている。 ④保護者の判定結果が年々下がってる。コロナの対応で、クラスや部活でのあいさつ運動が行われていないため、あいさつ運動を全校で行っている雰囲気を感じられない。								
具体策	④クラスや部活ごとのあいさつ運動を行っていく。生徒会だけでなく、各委員会の活動と共同で行う。								
②無言清掃の黙働を通し、自分を見つめ、心を磨く生徒の育成	毎日の無言清掃に生徒が意欲的に取り組むよう指導しているかどうか。(取組指標) 【目標指数】A+Bの合計が100%	①毎日の清掃活動(無言清掃)に、生徒が時間いっぱい意欲的に取り組む指導を十分に行っている。	計34人		A+Bが100%	100%	教職員		
		A あてはまる	24	71%					
		B どちらかといえば、あてはまる	10	29%					
		C どちらかといえば、あてはまらない	0	0%					
	毎日の無言清掃に積極的に取り組んでいるかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が90%以上	②時間いっぱい無言清掃に取り組むことができている。	計499人		A+Bが97%	98%	生徒		
		A あてはまる	338	68%					
		B どちらかといえば、あてはまる	144	29%					
		C どちらかといえば、あてはまらない	15	3%					
	清掃活動「無言清掃」の取り組みに満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が80%以上	③学校は、清掃活動(無言清掃)の取り組みを通して、心を育てる教育で十分な効果を上げている。(おしゃべりや怠けを我慢する心、皆のためがんばる思いやりの心、汚れや周りの様子に気づく心、校舎への感謝の心など)	計427人		A+Bが79%	80%	保護者		
		A あてはまる	135	32%					
B どちらかといえば、あてはまる		204	48%						
C どちらかといえば、あてはまらない		20	5%						
D あてはまらない		3	1%						
E わからない	65	15%							
成果と課題	③無言清掃の取り組みについて、「効果を上げている」という設問のため、保護者が答えづらく、わからないという答えが多いと考えられる。								
具体策	③無言清掃の様子を知ってもらうために、学校公開や保護者会などで積極的に公開する。								



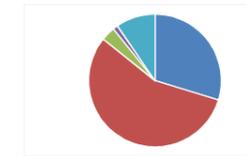
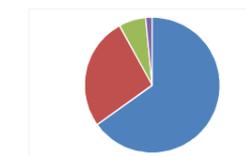
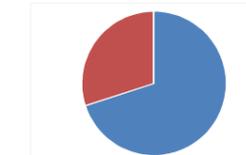
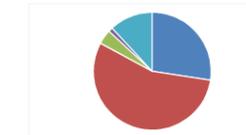
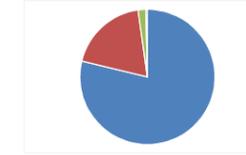
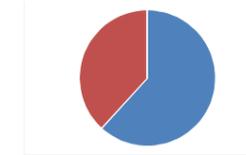
令和3年度 三国中学校 学校評価

項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート (設問と回答)		アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者
			人数	割合	人数	割合			
間性	③いじめ・不登校の未然防止, 早期発見・早期対応	いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応を常に意識し、迅速な報告、連絡、相談およびチーム対応をおこなっているかどうか。(取組指標) 【目標指数】A+Bの合計が100%	①いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応を常に意識し、迅速なチーム対応に努めている。		計34人		A+Bが97%	100%	教職員
			A あてはまる	28	82%				
			B どちらかといえば、あてはまる	5	15%				
			C どちらかといえば、あてはまらない	1	3%				
		D あてはまらない	0	0%					
		いじめは絶対に許されない卑劣な行為であることを理解し、いじめを許さず、他者への思いやりや助け合いの心をもって学校生活を送っているかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が90%以上	②いじめを許さず、いじめに気づいたときはすぐに誰かに相談するようにしている。		計499人		A+Bが93%	93%	生徒
			A あてはまる	318	64%				
			B どちらかといえば、あてはまる	145	29%				
			C どちらかといえば、あてはまらない	26	5%				
		D あてはまらない	10	2%					
いじめや不登校についての未然防止策や早期発見・早期対応に満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が80%以上	③学校はいじめや不登校の未然防止や早期発見のために、定期的に生徒・保護者へのアンケートを行い、早期対応に努めている。		計427人		A+Bが82%	87%	保護者		
	A あてはまる	129	30%						
	B どちらかといえば、あてはまる	223	52%						
	C どちらかといえば、あてはまらない	24	6%						
	D あてはまらない。	8	2%						
E わからない。	43	10%							
成果と課題	③生徒・保護者に対する定期的なアンケートの実施と教育相談の時間を多く設定していることが、高い判定結果となっている。								
具体策	③今後も、今年度の活動を継続していく。								
④ネット社会における情報モラルの向上		インターネットや携帯電話などについて、安全かつ適切な活用能力を身につける指導をおこなっているかどうか。(取組指標) 【目標指数】A+Bの合計が100%	①インターネットや携帯電話、タブレット、ゲーム機器などの適切な使用について、指導を十分行っている。		計33人		A+Bが94%	91%	教職員
			A あてはまる	16	48%				
			B どちらかといえば、あてはまる	15	45%				
			C どちらかといえば、あてはまらない	2	6%				
		D あてはまらない	0	0%					
		t o 2 2 宣言を守り、インターネットや携帯電話などの安全かつ適切な使用について理解できたかどうか。(成果指標) 【目標指数】A+Bの合計が80%以上	②インターネットや携帯電話、タブレット、ゲーム機器などについて、安全で適切な利用のしかたを理解し、三国中学校が取り組んでいるネットの利用について理解し、安全に利用している。		計499人		A+Bが97%	74%	生徒
			A あてはまる	385	77%				
			B どちらかといえば、あてはまる	100	20%				
			C どちらかといえば、あてはまらない	13	3%				
		D あてはまらない	1	0%					
インターネットや携帯電話などの適切な使用についての指導に満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】A+Bの合計が80%以上	③学校は、インターネットや携帯電話、タブレット、ゲーム機器などの適切な使用について、十分指導を行っている。(情報モラル教室の実施、我が家のスマートルール作成・保護者会での振り返りなど)		計427人		A+Bが77%	76%	保護者		
	A あてはまる	86	20%						
	B どちらかといえば、あてはまる	241	56%						
	C どちらかといえば、あてはまらない	42	10%						
	D あてはまらない。	11	3%						
E わからない。	47	11%							
成果と課題	①各教科や道徳、担任からの定期的な指導により、生徒の判定結果は高い。 ③保護者の、「十分指導しているか」というものが、トラブルが起こらないことが十分指導していると判断するのか、トラブルの解消までが十分指導していると判断するのか、保護者によって判断基準が違う。 ③ゲーム機という言葉が、ゲームの時間に対する指導ととらえられてしまう。								
具体策	③我が家のスマートルールの作成、振り返りの継続。10月に2学期の中間評価をする。								



令和3年度 三国中学校 学校評価

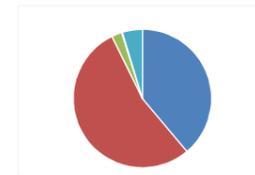
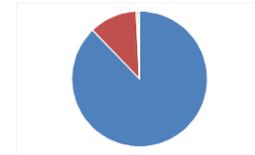
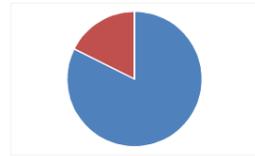
項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート (設問と回答)		アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者
			人数	割合	人数	割合			
①お互いの人権を尊重し、相手を思いやり、協力する学級・学校づくり	日々の教育活動を通して、望ましい人間関係ができるような集団作りに取り組んでいるかどうか。 (取組指標) 【目標指数】 A+Bの合計が100%	①日々の教育活動を通して、望ましい人間関係ができるような集団づくりに努めている。	計34人		A+Bが100%	94%	教職員		
			A あてはまる。	21				62%	
			B どちらかといえば、あてはまる。	13				38%	
			C どちらかといえば、あてはまらない。	0				0%	
	学校生活の中で、望ましい人間関係を作ることができているかどうか。(成果指標) 【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	②学校生活の中で、相手を思いやり、他の子と協力して様々な活動に取り組んでいる。	計499人		A+Bが98%	97%	生徒		
			A あてはまる。	393				79%	
			B どちらかといえば、あてはまる。	95				19%	
			C どちらかといえば、あてはまらない。	9				2%	
	人権教育の充実を図り、思いやりや協力する気持ちを育てる学校の取り組みに満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	③学校は、お互いの人権を尊重し、思いやりの心や協力する気持ちを育てる集団づくりを行っている。(学校祭などの行事を通してよりよい集団づくりに取り組んでいる。)	計427人		A+Bが83%	87%	保護者		
			A あてはまる。	117				27%	
B どちらかといえば、あてはまる。			237	56%					
C どちらかといえば、あてはまらない。			17	4%					
D あてはまらない。			5	1%					
成果と課題	①昨年度に比べ、コロナ禍であっても、工夫をして学校行事等を行い、多くの活動ができた。また、You Tube配信などを通じて、保護者に活動の様子を知ってもらえた。 ③保護者への質問で「わからない」という回答が多かった。学校の取り組みが分かるような発信をしていくことが必要。								
具体策	①人権教育は、学校のあらゆる教育活動の基盤となるもので、日々やっていることの中でなされているもの。人権教育の「年間指導計画」をもとに、先生方に、より意識して取り組んでもらえるように啓発していく。 ③現在進行中の「校則改正」に関する話し合いは、まさに人権関連であり、その過程を発信していく。 ③人権関連のJRC委員会の活動や、学年での道徳の授業の内容を発信する。								
②体験活動、ピア・サポート活動を取り入れた、道徳・特別活動の充実	居心地のよい学級づくり(居場所づくり)や仲間づくり(絆づくり)を意識し、道徳や特別活動の時間を有効に活用し、自己有用感を高めるよう努めているかどうか。 (取組指標) 【目標指数】 A+Bの合計が100%	①道徳や特別活動、短学活の時間を活用し、一人一人が安心でき、所属感のある学級づくり、集団づくりに努めている。	計20人		A+Bが100%	96%	教職員		
			A あてはまる。	14				70%	
			B どちらかといえば、あてはまる。	6				30%	
			C どちらかといえば、あてはまらない。	0				0%	
	学校には自分の居場所があり、自分が必要とされていると感じているかどうか。 (成果指標) 【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	②学校では楽しく過ごし、教室は居心地が良い場所だと思う。	計499人		A+Bが92%	95%	生徒		
			A あてはまる。	325				65%	
			B どちらかといえば、あてはまる。	134				27%	
			C どちらかといえば、あてはまらない。	32				6%	
	道徳や特別活動を通じた望ましい集団づくり(居場所づくりや絆づくり)の取り組みに満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	③学校は、道徳や学活でよりよい集団のあり方などについて話し合ったり、体育祭や部活動などの異学年交流を通して絆づくりに努めたり、よりよい学級づくり、集団づくりに取り組んでいる。	計427人		A+Bが86%	85%	保護者		
			A あてはまる。	127				30%	
B どちらかといえば、あてはまる。			239	56%					
C どちらかといえば、あてはまらない。			15	4%					
D あてはまらない。			5	1%					
成果と課題	②生徒自身の「居心地の良さ」の捉え方を共通理解できていなかった。 ③コロナの影響で、学校公開の機会が減ったため、様子が分からないと感じた保護者の方が多かったのではないか。								
具体策	①各学級担任、部活動顧問、教科担任などによる細やかな生徒一人ひとりの「みとり」を継続して行う。								



健やかな体と心

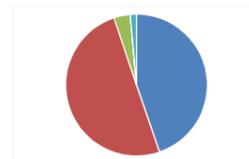
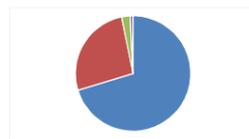
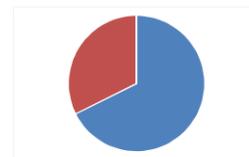
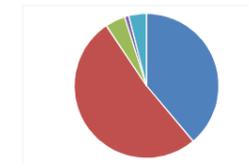
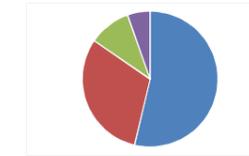
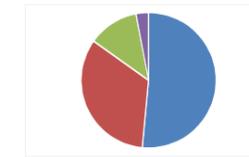
令和3年度 三国中学校 学校評価

項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート (設問と回答)		アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者
			人数	割合	人数	割合			
③保健・安全 教育と食育による 健全な身体づくり	生徒の心身の健康に注意を払い、子どもの安全確保や保健・安全教育および食育に取り組んでいるかどうか。(取組指標) 【目標指数】 A+Bの合計が100%	を継続して行う。	計34人		A+Bが100%	97%	教職員		
		A あてはまる。	28	82%					
		B どちらかといえば、あてはまる。	6	18%					
		C どちらかといえば、あてはまらない。	0	0%					
		D あてはまらない。	0	0%					
	自分自身の心身の状態に関心を持ち、健康で安全な生活を送るよう心がけているかどうか。(成果指標) 【目標指数】 A+Bの合計が95%以上	②自分自身の心や体の健康状態に気づき、感染症対策(マスク着用・手洗いなど)に心がけている。	計499人		A+Bが99%	99%	生徒		
		A あてはまる。	438	88%					
		B どちらかといえば、あてはまる。	57	11%					
		C どちらかといえば、あてはまらない。	2	0%					
	子どもの安全確保や健康管理のための学校の取り組みに満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】 A+Bの合計が95%以上	③学校は、子どもの安全確保や健康管理のための取り組みを十分に行っている。(交通安全教室・街頭交通指導、感染症対策、保健だより・給食だよりなどの配布やホームページへの掲載)	計427人		A+Bが93%	90%	保護者		
A あてはまる。		166	39%						
B どちらかといえば、あてはまる。		230	54%						
C どちらかといえば、あてはまらない。		10	2%						
D あてはまらない。		1	0%						
E わからない。		20	5%						
成果と課題	①昨年に引き続き、子どもの安全確保や保健安全(感染症対策等)に留意して取り組んでいる。								
具体策	③子どもの安全確保や健康管理のための学校の取り組みをホームページ等で知らせる。								



令和3年度 三国中学校 学校評価

項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート (設問と回答)		アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者
			人数	割合	人数	割合			
①学校だより、ホームページ等による積極的な情報発信	教職員が、学校だよりやホームページ等で積極的な情報発信を行っているかどうか。(取組指標) 【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	①学校だより(学年通信、生徒指導部だより、保健だより、図書館だより)やホームページ等を通して積極的に情報を発信している。	計33人		A+Bが85%	90%	教職員		
			A あてはまる。	17				52%	
			B どちらかといえば、あてはまる。	11				33%	
			C どちらかといえば、あてはまらない。	4				12%	
	生徒が、学校だよりやホームページ等に行事予定や活動の様子が掲載されていることを理解し、利用しているかどうか。(成果指標) 【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	②学校だより(学年通信、生徒指導部だより、保健だより、図書館だより)から、今後の活動の情報を得ている。また、ホームページで活動の様子が掲載されていることを知っている。	計499人		A+Bが85%	79%	生徒		
			A あてはまる。	268				54%	
			B どちらかといえば、あてはまる。	154				31%	
			C どちらかといえば、あてはまらない。	50				10%	
	保護者が、学校だよりやホームページ等から教育活動に関する情報に満足しているかどうか。(満足度指標) 【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	③学校は、教育活動を適切に伝えている。(ホームページ、安全安心メール、学年通信、生徒指導部だより、保健だより、図書館だよりなどで)	計427人		A+Bが91%	93%	保護者		
			A あてはまる。	166				39%	
B どちらかといえば、あてはまる。			221	52%					
C どちらかといえば、あてはまらない。			19	4%					
D あてはまらない。			4	1%					
成果と課題	①部活動の更新が少ない部があった。 ③体育祭や文化祭を動画で配信することで、参加できない保護者への対応ができたのは良かったが、編集作業に多くの時間と労力を費やした								
具体策	①各部活動の活動予定表や学年の様子、生徒の普段の学校生活についても発信することを考える。 ①ホームページ担当者だけでなく、材料提供や掲載の依頼などを全職員で取り組む。 ①編集作業については外部の業者に委託し、来年度も動画配信を行う。 ③紙媒体での配付物に関しては、安全安心メールにて配付したことを保護者に知らせ、配付資料をPDFにて添付する。								
②家庭・地域・他校種への学校公開を充実	学校として、学校公開を積極的に行っているかどうか。(取組指数) 【目標指数】 A+Bの合計が100%	①学校公開の際には保護者から信頼を得ることを意識し、授業や学校行事に取り組んでいる。	計34人		A+Bが100%	100%	教職員		
			A あてはまる。	23				68%	
			B どちらかといえば、あてはまる。	11				32%	
			C どちらかといえば、あてはまらない。	0				0%	
	生徒が、学校公開の目的を理解し、信頼される三中生となるよう努めているかどうか。(成果指数) 【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	②学校公開(体育祭、授業参観)の時には、意欲的に取り組み、信頼される三中生となるようがんばっている。	計499人		A+Bが97%	96%	生徒		
			A あてはまる。	351				70%	
			B どちらかといえば、あてはまる。	132				26%	
			C どちらかといえば、あてはまらない。	12				2%	
	保護者が、学校公開による教育活動の公開に満足しているかどうか。(満足度指数) 【目標指数】 A+Bの合計が90%以上	③学校は、学校行事や授業などの教育活動を、感染症対策を講じたうえで、できる限り公開している。(体育祭や学校公開による授業公開など)	計427人		A+Bが95%	96%	保護者		
			A あてはまる。	191				45%	
B どちらかといえば、あてはまる。			214	50%					
C どちらかといえば、あてはまらない。			16	4%					
D あてはまらない。			0	0%					
成果と課題	③感染症対策を講じたうえでの学校行事だったため、多くの活動で制約があるなかでの学校公開となった。								
具体策	③次年度も今年度以上に、感染症対策を講じたうえで積極的に学校公開を行っていく。								



信頼される学校

令和3年度 三国中学校 学校評価

項目	具体的取組	評価の観点・目標指数	アンケート (設問と回答)		アンケート結果		判定結果	昨年度	回答者
			人数	割合	人数	割合			
③「地域と進める体験推進事業」の推進により、ふるさと三国に誇りや愛着を持つ生徒の育成	教職員が、「地域と進める体験」の目的を理解し、事業推進に努めているかどうか。 (取組指数) 【目標指数】A+Bの合計が 100%	①ふるさと三国や福井に愛着を持つ生徒の育成に努めている。	計33人		A+Bが 94%	100%	教職員		
		A あてはまる。	19	58%					
		B どちらかといえば、あてはまる。	12	36%					
		C どちらかといえば、あてはまらない。	2	6%					
	生徒が、ふるさと三国に誇りや愛着を持つようになったかどうか。 (成果指導) 【目標指数】A+Bの合計が 80%以上	②ふるさと三国に誇りや愛着があり、地域に役立つことをしたいと思う。	計499人		A+Bが 93%	90%	生徒		
		A あてはまる。	281	56%					
		B どちらかといえば、あてはまる。	183	37%					
		C どちらかといえば、あてはまらない。	29	6%					
	保護者が、ふるさと三国に誇りや愛着を持つ生徒を育成するための取り組みに満足しているかどうか。 (満足度指導) 【目標指数】A+Bの合計が 80%以上	③学校は、ふるさと三国に誇りや愛着をもつ生徒を育成するための活動を、感染症対策での制限がある状況で、できる限り取り組んでいる。(1年総合学習「三国マイスター 現地調査活動」、2年総合学習「三国町内での職場体験」校外研修「三国をさらに元気にしよう」、3年進路学習「三国高校生との交流「ようこそ先輩」など)	計427人		A+Bが 91%	91%	保護者		
		A あてはまる。	175	41%					
B どちらかといえば、あてはまる。		213	50%						
C どちらかといえば、あてはまらない。		8	2%						
D あてはまらない。		1	0%						
E わからない。	30	7%							
	成果と課題	①3年間を見通し、系統的に活動を計画しているが、3年生での三国に関する地域学習は、5月の発表(2年生の時に作成)のみである。 ②昨年度同様、生徒はふるさと三国に対する意識が高い。 ③各学年の様々な取り組みを学校だよりやHPで紹介しているため、保護者も「ふるさと教育」への意識が高いと考えられる。							
	具体策	①三国高校の地域探求学習につながるような3年生での学習を年間計画に位置づける。 ②三国高校の「地域探求」活動に中学生も関わりをもつような活動を取り入れていくために、三中・三高連絡協議会において、活動計画を共有し日程調整を行う。 ③「芝桜植樹」のように、地域と連携した活動への参加を増やすため、個人参加だけでなく、部活動単位での参加を促し、年間計画を立てる。							

